

言葉と出会う

初めて会った人の話を聞いたり、まだ会ったことのない人の文章を読んだりして、何かがあったと思う。誰かが発した言葉によって、相手のことや自分のことが前よりもわかる。それが言葉と出会う瞬間です。その時あなたの頭の中では何が起こっているのでしょうか。

何かを熱烈に学ぼうとして文章や話に没頭している。自分の考えに心の中で耳を澄ます。言葉の意味をもっと掘り下げようとしてもがき、それを楽しむ。新しい知識と出会って自分の考えのどこが変化したか言ってみる、書いてみる。対話することで自分自身の考えが前よりはっきりする。それまで見逃していたことに気づく。国語の授業は、話したり、聞いたり、書いたり、読んだりする行為をとおして、こんなふうに頭をはたらかせて、言葉でこの世界を理解する、その方法を学ぶ場です。

阿川佐和子さんの『聞くということ』には、言葉をとおして自分と相手と世界を理解するためのたくさんのヒントがあります。それを探して、友達と話し合ってみましょう。

10

5

